

# もろやま

発行／毛呂山町議会  
編集／毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

議会だより

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



ふれあいスポーツ大会 玉入れ〈総合運動公園〉

## 6月の定例会

専決処分・条例の一部改正ほか……………	2～3P
契約の締結・委員会レポート……………	4P
常任委員会行政視察……………	5P
いっぱん質問11人……………	6～11P
議会の動き・全員協議会ほか……………	12P

平成20年7月20日発行

第 61 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

# 前倒して 本年度建設を表明

児童のうち父母又はこれに変わる就労者等により家庭が常時留守になっている児童の健全な育成を図るため、当町には岩井学童保育所と川角学童保育所がありますが、特に岩井の入所児童の増加が著しく定員を大幅に超え保育に支障を来しているため、本年度計画されていた設計に加え前倒して建設したい旨を全員協議会において町より説明があった。

### 専決処分

◎ 税条例の一部改正

※ ふるさと納税や年金特  
別徴収制度の創設。

(賛成多数可決)

◎ 都市計画条例の一部改正

※ 地方税法の改正に伴な  
う条項の整理。

(全員賛成可決)

◎ 国民健康保険税条例の一

部改正

※ 後期高齢者医療制度  
に伴なう軽減措置の創  
設。

(賛成多数可決)

平成20年第2回定例会は6月2日から11日までの会期で開かれ町長から提案された専決処分の承認3件、条例の一部改正6件、規約の変更1件、補正予算1件、契約1件、報告2件、合せて14件。他、請願1件について慎重に審議いたしました。なお、議案審議に先立つての一般質問は、3日間にわたり11名がそれぞれ登壇し、活発な議論を展開。町の考えを質しました。

### 越辺川・高麗川水害予防組合水防訓練 (6月7日)



ロープ結索訓練



土のう作り訓練

安心・安全な  
まちづくり

# 泉野小学校敷地内 新学童保育所

学童保育所建設予定地  
(泉野小校地・校門西駐車場)

## 条例の一部改正

### ◎手数料条例

※戸籍等に関する証明書  
の交付請求が制限され  
た。

(全員賛成可決)

### ◎重度心身障害者医療費支給に関する条例

※中国残留邦人等の支援  
に関する法律の改正に  
伴い当該支援給付受給  
世帯が町条例の対象外  
の世帯となった。

(全員賛成可決)

### ◎ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例

※中国残留邦人等の支援  
に関する法律の改正に  
伴い当該支援給付受給  
世帯が町条例の対象外  
の世帯となった。

(全員賛成可決)

### ◎こども医療費支給に関する条例

※埼玉県の要綱に定める  
医療給付を受けていた  
者が町のこども医療か

ら除かれた。

(全員賛成可決)

### ◎農業委員会の選挙による委員の定数を定める条例

※選挙で選出される委員  
定数を10人から7人に  
削減。

(賛成多数可決)

### ◎上水道審議会条例

※上水道事業審議会を上  
水道審議会に。委員定  
数10名を8名以内に改  
め、町議会議員選出を  
5人から3人以内に、  
知識経験を有する者及  
び水道利用者を5人か  
ら5人以内に改める。

(全員賛成可決)

## 規約の変更

### ◎埼玉県市町村総合事務組合の規約変更

※皆野・長瀨水道企業団  
の解散、秩父衛生下水  
道組合の名称変更等に  
よる

(全員賛成可決)

## 一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ36  
万8千円を追加、予算総額  
を歳入・歳出それぞれ84億  
1766万8千円とする。

内容は県の委託事業で、  
小学校の理科支援員謝金及  
び傷害保険料。

(全員賛成可決)

## ■注釈

### 専決処分とは

条例の制定・改廃、予算  
の決定その他議会が議決又  
は決定すべき事件について  
法定事由に該当する場合又  
は議会の議決に委任された  
場合長が議会に代わり処分  
する。

(1) 議会が成立しないとき。

(2) 出席議員数により会議が  
開けないとき。長は専決

処分出来る。

(3) 長が議会を招集する暇が  
ないと認めるとき。

(4) 議会が議決又は決定すべ  
き事件を議決しないとき。



# 毛呂山小学校 校舎耐震補強 工事請負契約の締結

## ●概要と必要性

毛呂山小学校の校舎は、昭和47年に南校舎が、昭和51年に北校舎が建設され現在に至っています。

平成16年度に実施された耐震診断での数値は南校舎が0・3、北校舎が0・5と低く（国で定める学校校舎の耐震安全基準は0・7以上）早急に耐震補強工事が必要と診断されています。今年耐震工事を行うこ

とで国の基準をクリアし、建物の耐震性が保たれます。

## ●工事名・金額

・毛呂山小学校  
校舎耐震補強工事

・請負金額

9161万5125円

## ●工期

平成20年6月6日から  
平成20年10月31日まで

## ●工法

・鉄骨ブレース補強27基  
（南校舎25基、北校舎2基）  
・スリット補強211箇所

## ●請負業者

鶴ヶ島市大字高倉  
株式会社 三幸

## ●契約方法

制限付一般競争入札

## ■主な質疑

**問** 工期10月31日までとなっているが、授業や各種活動に支障が出ないか。

**答** 殆どどの工事は夏休み中に完了する予定で、足場解体程度がずれ込むと思わ

れる。授業や各種活動に影響しないよう進める。

**問** 入札において最低制限価格を設ける基準は。また入札参加資格業者は、何社あったのか。

**答** 最低制限価格は地方自治法施行令に基づき、契約内容に適合した履行を確保するため必要と判断し、設定した。また、入札参加資格業者は、58社あり、10社が入札に参加した。

**問** 最低制限価格と同額で落札しているが、この価格で工事に対する信頼性が保たれるか。

**答** 入札に際しては、各入札業者に見積書も同時に提出させているので、価格は問題ないと考える。施工管理については業者等と打合せを十分行い対応している。（全員賛成可決）

## ●今後の予定

毛呂山中学校においては耐震診断が終わり20年度に耐震補強工事の設計を実施

している。また、今年度、泉野小学校と川角中学校校舎の耐震2次診断を実施した後、順次耐震補強工事を進めていく予定。

## 委員会レポート

### 請願

生活福祉常任委員会

・「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める  
請願

毛呂山町旭台

青木 未知

紹介議員 岡野 勉

長瀬 衛

**内容** 「協同労働の協同組合法」の国会での速やかな制定を求める意見書を採択の上、政府及び関係行政官庁に提出願いたい。

### ◎委員会審議

近隣市町においてまだ事例がなく、国及び県の動向を見極めてからでも遅くないと思われる。

制度に対して理解をより

深めるために、今後十分な審議を必要とする。正当な結論を出すため、今回は継続調査を願う。

（継続審査）



19年度に耐震補強が施工された川角小学校校舎

# 常任委員会視察

5月21・22日

総務文教・生活福祉常任  
委員会合同の行政視察を行  
いました。

## 「屋上緑化の 取り組みについて」

埼玉県川口市立戸塚南小  
学校の屋上緑化を視察。

川口市は埼玉県の南端に  
位置する県内有数の都市  
で、市の大部分が都心から  
10キロ圏内に含まれる。人  
口は50万人。この学校は平  
成17年4月環境を考慮した  
「エコスクール」として誕  
生。新興住宅と旧住宅の混  
在する地域に位置し「夢を  
持ち、生き生きと活躍でき  
る心豊かな児童の育成」を目  
標とし、環境教育に大変力  
をいれている小学校です。  
この校舎は当初より屋上緑  
化が組みこまれ、土の重さ  
を考慮した設計になってい  
る。そのため屋上には、校

内で集めた落ち葉などを利  
用し、野菜の栽培が実践さ  
れている。指導は理科を担  
当する先生方のグループが  
受け持ち、生徒たちの手に  
よって育て、出来た野菜は  
自分たちの給食に使われて  
いる。本格的に緑化に取り  
組んだのは、平成19年から  
美化委員会、(児童と教諭)  
が中心となって整備し、栽  
培活動に取り組んでいる。  
理科環境委員会が、種から  
発芽させた苗をつくり美化  
委員会が育てるという連携  
がとられている。また、グ  
リーンカーテンについて  
は、総合の授業での取り組  
みで行われたもので、理科  
環境委員会が牛乳パックと  
古紙回収によってトイレッ  
トペーパーの代わりにゴー  
ヤの種をもらい、苗を育て  
た。全校のベランダにプラ  
ンターに植えたゴーヤを配



置し、夏の暑さを和らげる  
効果を狙うとともに、理科  
の成長観察と算数の折れ線  
グラフの学習に活かされて  
いる。また、特別教室以外  
エアコンは設置していな  
い。学校の地下には180  
トンの雨水貯水施設があ  
り、飲用以外のあらゆるも  
のに利用され、当然緑化事  
業にも使われている。  
「戸塚南小学校の総括」  
屋上緑化については、補  
強・防水処理及び給水施設  
等行なえば毛呂山町の学校  
でも実施の可能性はあり、  
環境教育としての効果は大  
きい。

## 「地域通貨とまちづくり 活性化バスについて」

茨城県土浦市を視察。

土浦市は、東京60キロ圏  
内にあり、人口は14万35  
52人。江戸時代よりこの  
地域文化、経済の中心的立  
場の市として栄えてきた。  
バス路線網は関東でも有数  
の路線数を誇ってきたが、

自家用車の普及や、郊外大  
型店舗の増加、ライバル都  
市の出現等さまざまな要因  
で土浦市の中心市街地空洞  
化や、大型店の撤退による  
集客力の低下、既存バス路  
線の廃止など諸問題が襲っ  
てきた。そこで市は、「ま  
ちづくり活性化バス」に取  
り組んだ。運行目的は中心  
市街地活性化対策の一環と  
して、中心市街地への集客  
力・来街機能を高めるため、  
更に中心市街地の居住・生  
活環境の向上と、公共交通  
機関の利用促進のため運行  
する。また、高齢化社会や



環境問題に配慮し、地域や  
利用客が支える民間主体の  
バスを目指し、「市民の足」  
としての運行を実施。実施  
規模は、3路線小型バス2  
台(28人乗り)ワゴン車1  
台(10人乗り)で2年間試  
験運転し、平成20年より本  
営業。また、協力店が客に  
交付した地域通貨「キララ」  
1枚で1回乗車できる。  
「総括」  
今後バス事業を実施する  
に当っては、地元のニーズ  
や経営方針などじっくり話  
し合って行く課題が見つかり  
先進事例として、大変参  
考になるものが多かった。



# いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

## 質問議員と質問事項

- 伊藤和由議員** ① より良い町づくりの方向性  
② 生活の安定を求める制度の状況
- 長瀬 衛議員** ① ビジョン  
② 教育行政  
③ 行政改革  
④ 都市計画道路の整備状況及び野久保線事業
- 岡野 勉議員** ① 学童保育所の充実  
② 「町民の足」確保、公共交通の充実  
③ 後期高齢者医療制度  
④ 2学期制および関連事項
- 井上健次議員** ① 道路特定法案とスマートインターチェンジ  
② 新規就農支援事業  
③ 住民参画グリーン事業
- 下田一甫議員** ① 小中学校々舎等  
② 四季彩の丘公園等
- 藤岡健司議員** ① 歴史民族資料館  
② 後期高齢者医療制度  
③ 防犯
- 小峰明雄議員** ① 教育・子育て環境の充実  
② 水道事業長期給水計画  
③ 健康づくり
- 川上伸子議員** ① 道路交通法一部改正  
② 火災報知器設置義務
- 菅野博子議員** ① 後期高齢者医療制度  
② 介護予防事業へ聴覚検査導入を
- 堀江快治議員** ① 町政運営  
② 燃料・諸物価の高騰
- 岡部和雄議員** ① 歳入の確保についてどのように考えているのか  
② 町民の利便性を考える交通手段の取り組み  
③ 住民の願いをどのように捉えているのか

※内容については、各人の原稿をもとに質問順で掲載しました。質問順は抽選により決定されます。

## 生活道路上の水溜りの解消をすべき！

障害物と認識し、早期に改善して行く

伊藤 和由 議員

**問** より良い街づくりを目ざす中、生活道路の舗装仕上面の亀裂や水溜りが大変に多く、雨降りの日には、安心して道路を歩くことが出来ない状態である。

**答** 梅雨期を迎え、水溜り解消にどの様に対処して行くのか。道路の舗装修繕工事の早期

発注を目指すと共に、緊急を要する箇所は、町内全般舗装修繕工事や職員による補修作業で早期に対応して行く。

**問** バリアフリー化社会の中で道路上の水溜りは、障害者や老人にとっては大変な障害物であると思うが、お考えは如何か？

**答** 障害物に成ると認識している。改修、改善に向け努力する。

**問** 人口減少化の中、街づくりが進まず、ゆとりと地域文化の乏しい町から、より良い大都市へと人口の流出が見られる。

**答** 人口の流出防止を図る街づくりへの考えをお聞きたい。

**問** 人口の流出は重要な問題として認識している。過去5年間の推移では年平均1700人の方が転出している現状である。

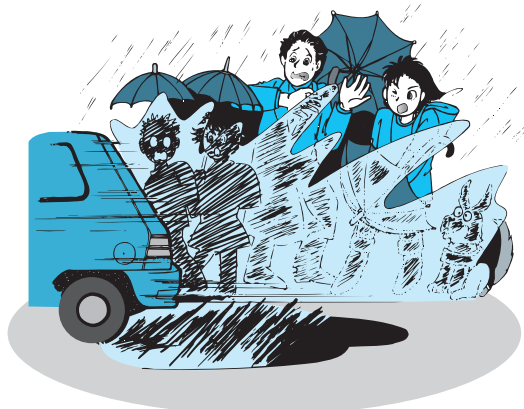
**答** 人口流出防止策として、若者から老人まで住民の暮らしやすさの確保、安全、安心の町づくりが重要と考える。今後、幹線主

要道路、生活道路整備を重要課題として推進していく。

**問** 総合振興計画で定めた活性化エリアの土地利用の方向性、検討内容を尋ねる。

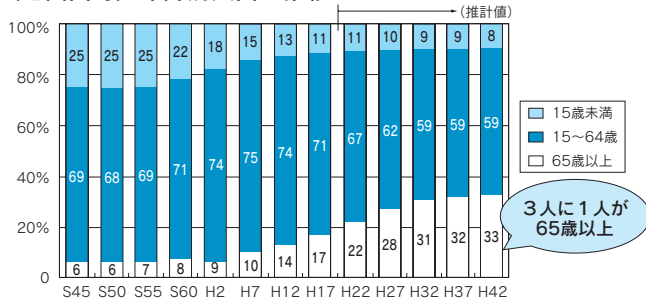
**答** 区域周辺と調和した土地利用と、町全体の活性化を図り、都市計画法に定める企業誘致可能な産業系の区域指定について検討をしていく。今後は指定区域、指定年度等に関係機関と協議、調整をしていく。

他、本町の後期高齢者医療制度、介護予防サービス事業の現状を質疑致しました。



歩行者の障害となる水溜りの解消

〔毛呂山町〕年齢別人口の推移



資料) 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計人口

20年後の毛呂山町 人口3万2千人・高齢化率33%

## 人口減少化に逆行し、根拠のない町づくり

### 安心安全な道路づくりで人口減少に歯止め

長瀬 衛 議員

〔問〕 後期高齢者医療制度も年金、道路特定財源問題もすべて少子高齢化により生じる未来社会の構造変化への対応が前提となっている。後世に付けを廻す大型事業はこの点を明確にすべきだ。

〔答〕 人口減少化に逆行する町づくりが進められているが、人口問題をどのように捉えているのか。統計によると20年後、人口3万2千人以下、高齢化率33%となり、ピーク時に8千人超の長瀬駅乗降客数も4千人台前半となる。町長のマニフェストに「20

年、50年先を見据えた町づくり」とあるが、具体的に何を据え、何が根拠か。  
 〔答〕 人口に見合った町づくりを進めている。野久保線事業では越生線のどこにもない橋上駅舎を作って利便性の向上を図り、人口減少に歯止めをかけた。  
 「学力第二より「たくましさ」！

る。子ども達や保護者に失礼極まりない表現である。学力第一主義は素直に馴染めない。心のたくましさ・生活力・思いやり等を育てることも大事である。  
 〔答〕 現状を分析し、報告書をまとめた。表現に難があるが、今後の教育行政のための方策である。  
 三つ子の魂百まで！  
 〔問〕 「三つ子の魂百まで」は医学的に証明され、5〜6歳までの幼児教育が重要。学童保育所は小1〜2年生が多い。町の方針は。

〔答〕 人間形成の基礎を培う時期。学童保育所ではなく家庭だが、時代背景だ。

## 一日も早く、新学童保育所の建設を！

### 今年度中に建設したい

岡野 勉 議員

〔問〕 岩井、川角学童保育所入所の現状と対策は。また、岩井学童については、早期に新学童保育所の建設を要望する！

〔答〕 今年の3月段階で岩井学童には定員60名に対して141名、川角学童には定員60名に100名の申し込みがあった。応募の

多さに驚いている。対応として岩井学童から川角学童へ18名が編入することで対応している。

〔問〕 岩井学童は前から「手狭だ！」との指摘が何度となくあり、保護者には「要望署名も辞さず」との思いがあったと思う。現在、岩井学童は定員の2・35

〔答〕 急な増加は昨年からと思う。児童一人当たりの床面積は基準では1・6㎡とされているが岩井学童では0・8㎡で約半分しか取れていない。これから建設に当たっては、道路および建設許可、補助申請などクリアし、今年度中には建設できるように努力する。

「町内循環バス」は町民と一体で検討、4月実施を！

〔問〕 「庁舎内検討委員会」の結論は。実施は来年の4月をめざしてほしい。  
 〔答〕 昨年12月議会で請願が採択された。請願に基づき「町内循環バス2台、4路線とし、一日4から5回の循環運行としたい。」

〔問〕 町内全域の「循環バス実施」を評価する。しかしバスが町民に愛され、いつまでも親しまれるには町民参加、町民と一体の実施計画を作り上げるべきだ。  
 〔答〕 運行主体は「町社協」。ここで意見反映したい。



もう限界！手狭になった岩井学童保育所





坂戸方面から毛呂山町へ（岩殿岩井線）

## 坂戸スマートインター チェンジと将来展望

今後の用途地域の指定に見直しが必要

井上 健次 議員

**問** 平成19年12月10日、坂戸・毛呂山・鳩山・越生の一市三町による首長連名で坂戸市入西地区におけるスマートICの要望書が国土交通省に出された。現在の動きと今後の展

**答** 望も合せて町の見解を聞く。坂戸市が平成18年より誘致に向けて国・県等の関係機関と協議を行っており、毛呂山町としても坂戸市の要請にもとづき積極的に協力しております。これによる将来展望として

は、本町の東部地区活性化エリア（毛呂山高校跡地より南西側）の産業振興も合せて、計画されている川越坂戸毛呂山線の道路整備についても早期実現への活動や協議に取り組みたい。

**問** 小沢町長は、選挙におけるマニフェストで川角小学校付近の日常的に渋滞する交差点の改良を掲げているが、スマートICがおよぼす新たな車の流れは、毛呂山越生から鳩山坂戸へ向う岩殿岩井線である。

本町では、目白台地区の住宅開発も進んでおり、町中心部よりスマートICへ向う為にも岩殿

岩井線に接続する休止状態の前久保・箕和田線の着工への見直しが必要である。

また、観光で毛呂山越生方面へ訪れる方々がもたらす効果からも、岩殿岩井線周辺における新たな町創りの展望はないか。

**答**（町長） 県道39号線の川角小学校付近の交差点改良も含め、側溝改修等を進めて混雑解消に働きかける。確かに県道39号線より岩殿岩井線の方がスマートICが開通した場合は利便性がよく今後の用途地域の指定についても、見直しが必要となってくるであろう。

## 校舎等の老朽化等が 急速に進んでいる対策は

計画的に改修を行っていく

下田 一甫 議員

**問** 学校の校舎等は児童・生徒の教育を受ける場であり、その環境は安全かつ快適でなければならない。しかし、古いものは小学校は校舎で築40年、体育館で30年、中学校は校舎で築35年、体育館で42年経過している。これ等の校舎等は築後殆ど何等

適切な処置が取られないまま現在に至り全校々舎等経年劣化は進行を早めると共に損傷等が目に見える。特に亀裂は多く危険は床面にも及んでいるがこれに伴い雨漏りも多く発生している。又、一校を除く全校で廊下等の床の傷みが目に余ると共に全校

共用所の状況は最悪である。さらに数校では体育館の雨漏りも発生するなど教育施設の状況は今や修繕の域を越えている。早期に改装・改修を計画的に行うべき。

**答** 経年劣化に伴う施設の修繕は行う必要がある。改修が必要な施設・設備の把握は情報収集と共に現場確認を行っている。安心・安全な学校づくりの観点から耐震工事を最優先に考え計画的に耐震工事を行っており、この工事に併せて実施出来るものは改修して行きたい。老朽化した施設の改修は計画的に行っ

て行きたい。

**四季彩の丘公園と鎌北湖水の汚濁**

**問** 2万㎡を有する公園は名ばかりで人影もほとんどなく寂しい限りである。この公園を今後どのようにしようと考えているのか。又、鎌北湖水の汚濁が目に見える。

**答** 四季彩の丘の公園名にふさわしく四季を通して楽しめる公園にしていく。又、鎌北湖水は環境基準では適正だが今後関係者と協議しつつ適正な水質管理に努めて行く。



利用出来ない手洗い場





歴史民俗資料館による遺跡の発掘調査

## 歴史民俗資料館の 来館者数の変化は

最近五ヶ年では増加傾向

藤岡 健司 議員

**問** この間の発掘調査について、内容や歴史的価値について。

**答** 葛貫地内の新田東遺跡で、4000年から4500年ほど前の住居跡が70軒以上発見され、縄文土器や石器も大量に出

土した。県内最大級の集落遺跡として新聞紙上でも大きく取り上げられた。これは開発行為に伴う調査のため、現状のまま保存することは困難で、出土資料や写真記録が展示事業に反映されるようにした。

**問** 町の財源を投入して、保険料の減免など対処しないと大変です。町の見解を伺う。

**答** 所得の低い方の均等割保険料には、現行制度の中では7割、5割及び2割の均等割額の減額が規定されている。均等割額を軽減した分については、県及び市町村の負担により賄うことになっており、すでに法令により減額措置が取られている。

※この医療制度の狙いは、75歳以上のお年寄りを別枠に囲い込んで、負担増と差別医療を強いて医療費を抑制するためにあると思われる。社会保険は、自己

責任や助け合いでは、カバーしきれない個人のリスクに備えて、政府や企業も費用を負担し、個人を社会的に支えていく制度として発展してきました。後期高齢者医療制度は、この発展の流れに完全に逆行する時代錯誤の制度であると思います。そこで廃止しかないと考えます。

**防犯について**

**問** 5年間の少年犯罪の推移は。

**答** 検挙。補導された少年は、平成15年68名、16年54名、17年78名、18年50名、19年現在未発表。少年犯罪は、全刑法犯検挙数の34%を占めている。

## 安全・安心な学校づくり 交付金の活用は

制度を活用して整備を進めます

小峰 明雄 議員

**問** 岩井学童保育所は、定員数を超えている状況は、児童福祉法施行令第1条の条文を鑑みま

すと、今回で連続3回目の一般質問となりますが、泉野小学校区への学童保育所の設置は急務。

**答** 今年度中に泉野小学校区に新たに学童保育所を建設できる

よう最善の努力をして参ります。

**問** 県は青少年健全育成推進プランを策定したが現状と課題は。

**答** 基礎学力定着度は、平成18年度県を上回る伸びを見せたが、県平均には至っていない。今後とも平成23年度95%の県の指標達成に向け取り組みます。

全国学力・学習状況調査は。学力向上対策委員会を組織し確かな学力の育成に向け支援。

**問** 新学習指導要領で、小学校5・6年に外国語活動を実施。

**答** 来年度の導入に向け準備。

**問** 特別支援教育が学校教育法に位置づけられ学校に於ける障害のある児童・生徒の支援を更に充実とあるが、現状と課題は。

**答** 小・中学校全てに特別支援学級が設置され、少人数できめ細やかな授業を受けております。

**問** 災害に負けない子どもたちを育む、防災教育の取り組みは。

**答** 関係機関と連携を密にし日

頃の学習活動や訓練で育成。

**問** 今後の学校給食費は。

**答** 全体の増額金が確定しだい運営委員会等で協議。

**問** 学校施設の老朽化と毛呂山小学校体育館の雨漏り。

**答** 耐震補強工事を最優先と考える。雨漏りは原因を調査し修繕工事を行いたい。

**問** 特定健康診査の受診率向上等のご見解は。

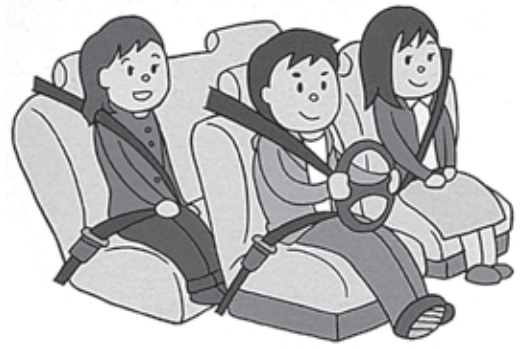
**答** より受診しやすい健診体制を構築する必要がある。

**問** 高齢者の健康づくりは。

**答** 健康維持の運動教室や栄養教室・口腔教室を実施。



学習環境の向上に望ましい学校トイレ環境の整備を！



身を守るシートベルト

## 高速道のシートベルト 非着用の罰則は

運転手に違反1点が付される

川上 伸子 議員

**問** 平成20年6月1日より車の全席にシートベルト着用が義務付けられたが同乗者全員のシートベルト着用義務は運転手の責務か。また、一般道や高速道を走行する際、後部席のシートベルト非着

用に罰則はありますか。

**答** 同乗者に関しては、すべて運転手の責任。後部席シートベルト非着用は一般道では努力義務。高速道では運転手に違反1点が付されます。

**問** 貨物車後部席にシートベルトがついていない場合の対応は。

**答** 道路運送車両法等が優先されるので罰則はありません。  
**問** シートベルトがついていない貨物車の車検対応は。  
**答** 現時点で規制はありません。  
**問** 新車でも後部席にシートベルトがついていない貨物車があるがメーカー責任は。  
**答** 貨物車、商用車の後部席は原則荷物を運ぶものです。今後お客様の要望があった場合にはオプションで装着していきたい。  
**問** 自転車に関する改正点は。  
**答** 普通自転車の歩道通行ができるのは、道路標識等で指定された場合。運転者が児童、幼児

すなわち13歳未満等の場合。車道又は交通の状況からみて、やむを得ない場合。又、子どもに自転車を運転させる時は乗車用ヘルメットをかぶせること。  
**問** 一般家庭にも火災報知器が義務化されました。設置しない場合、罰則はありますか。  
**答** 罰則は特にありません。  
**問** 聴覚障害者の対応は。  
**答** 光で知らせるタイプで対応。  
**問** 補助制度のお考えは。  
**答** 聴覚障害者には障害の重度等で規定に当てはまれば補助制度があります。

## 後期高齢者医療制度、毛呂山町は

概ね了解をいただいた

菅野 博子 議員

**問** 後期高齢者医療制度が4月からスタートしたが、毛呂山町の状況は。

**答** 毛呂山町の被保険者数は、2960人となっております。本町においても「被保険者証の文字が小さい。」「制度が複雑で分かりづらい。」及び「保険料の年

金からの天引き」等に関するご意見をいただいた。文字の大きさにについては、埼玉県後期高齢者医療広域連合において、本年8月から氏名、住所欄の文字を大きくする対応を取るとのことです。年金からの天引に

関しましては、制度の内容、保

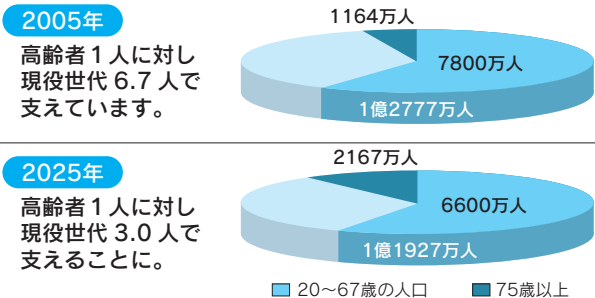
険料額の算出方法、保険料の納付方法、医療機関での受診の方法についての問合せが主で、保険料の収納状況につきまして、現在はのところ4月15日に第一回目の年金からの天引きが行なわれましたが概ね了解いただいたものと思っております。

**問** 被保険者数今後本町ではどのように推移していくと考えられるか。  
**答** 増え続けると考えられます。  
**問** かつての国保と変わって、現在の国保の被保険者が変貌していることを鑑み、町として歓迎できる制度と考えられるか。

険料額の算出方法、保険料の納付方法、医療機関での受診の方法についての問合せが主で、保険料の収納状況につきまして、現在はのところ4月15日に第一回目の年金からの天引きが行なわれましたが概ね了解いただいたものと思っております。

**問** 団塊の世代が退職し、前期高齢者の占める割合が多くなって来た。後期高齢者医療制度では支援分の歳入歳出が明確になり、財源の基礎が明確になったことでは歓迎できるものと考えます。  
**問** 担当課長としてどのように考えるか。  
**答** 日本の国全体が急速に高齢化する社会の中で、現在のままの形で社会保障制度を維持することは困難。経済情勢、人口構成を考え対応することは必要と考える。

「現役世代の減少」と「高齢者の急増」が同時進行！だから大変



国民皆保険制度の持続を！



# CO<sub>2</sub>削減・地球温暖化を防げ 自治体の取組みは!!

あらゆる情報を検索・積極的に取り組む



太陽光発電の設置促進!

堀江 快治 議員

**問** 町発展に必要な道路  
町は、野久保線を中心に据えているが、圏央道の開通に伴い、坂戸、鶴ヶ島方面への都市計画道を早期に実現すべき。「陸の孤島とならないか」町民の声は、厳しい。

**答** 計画中の圏央道坂戸地区スマートインターへのアクセスを視野に、新川越坂戸毛呂山線の早期建設を。産業経済を發展させる上でも、新川越越生バイパスと併せ、県に強く実現要望。  
**問** 新入学児童の安全対策  
泉野小、毛呂山小の学区変

更により、新一年生に孤立状態が存在、充分なる安全対策を  
**答** 近くの通学班への合流、生徒支援指導員の付添いなど、安心安全の通学確保につとめる。  
**問** この数年多数の職員が中途退職し、予想を上回る職員数の減少。団塊世代の退職とあいまって、高度な行政運営は、遂行出来るか。今後の採用予定は、中途採用も継続するのか。  
**答** 平成24年度以降5年間、70名以上が定年を向える。必要職員数の確保は厳しい。今迄以上の簡素で少数精鋭が必須。町民

サービスを維持するため、各種改革を断行する。中途採用は、専門分野も考慮、進める。  
**問** 燃料など物価高騰と対策  
**答** 車の運行、消耗品使用など今迄以上に厳しく検討する。  
**問** 地球環境を守る世界的行動の中で、何をなすべきか。  
**答** 地球温暖化問題は、極めて重要。自治体として、あらゆる情報を検索し、認識を高め、町民への啓発を行う。新エネルギーの導入等は、現在検討しているが、緊迫性をふまえ、CO<sub>2</sub>削減の為、太陽光発電など積極的に取り組む。

## 若者が定住する町へ

企業誘致をすすめる

岡部 和雄 議員

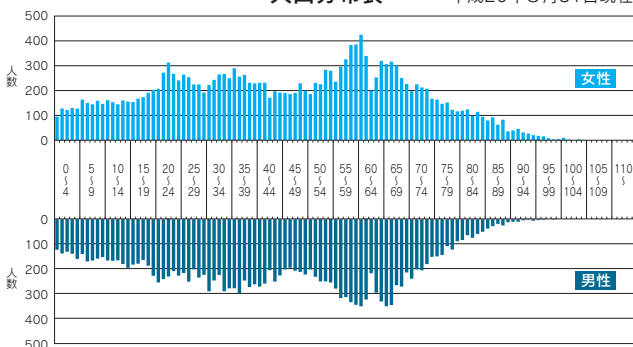
**問** 企業誘致の本気度はどうか。  
**答** 政策会議に諮り区域指定をし県及び関係機関と協議をする。  
**問** ふるさと納税で町は増収か。  
**答** 寄附金控除を所得控除から税額控除にして適用下限額を10万円から5千円に引き下げる。過去の実績では年に1件程度。

**問** 今後予定する住民負担増は。  
**答** 無料の体育館の有料化、一部施設の使用料改定を実施する。  
**問** NHKの連続ドラマは、来年川越が舞台になる町への影響。  
**答** 川越都市圏まちづくり協議会を通じ多少でも町への観光客の流入を期待している。観光情

報の提供はNHKに今後する。  
**問** 交通手段の確保は  
JRへは八高線の空白の間帯の解消を。東武へは直通の池袋行のダイヤ改正の要望をせよ。町内循環バスの運行は。  
**答** 各期成同盟会を通じ今後も働きかけていく。ワゴン車2台による無料の町内循環バスを試行的に運行する予定であります。  
**問** 住民の願いをかなえよ  
新生活運動の導入は。  
**答** 越生町が葬儀の簡素化を推進する為に実施している。香典3千円以内、お返し半分以内に自粛。行政が主導的に推進介入

するべきではないと思う。  
**問** 中小小売店は厳しいぞ。  
**答** 県の補助は、商店街活性化、環境整備事業、夢チャレンジ事業、地域資源活用事業です。町は運転資金の利子補給、商店街活性化事業費補助金、街路灯の設置を行っている。  
**問** 安心して長生きできる毛呂山町へ向かっているか。  
**答** 健康な高齢者には山根荘等を利用した健康維持を支援する。地域包括支援センターを中心に事業を推進していく。

人口分布表 平成20年5月31日現在



次の世代に夢を

## 議事事務局職員人事

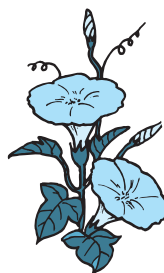
4月人事異動

大野 勉 係長

高齢者支援課へ

秋葉 幹史 主幹兼係長

管財課より



## 全員協議会

〔6月2日〕

(1) 新学童保育所建設について

○岩井学童保育所は近年児童の増加が著しく、定員を大幅に越える状況下であり、狭隘な施設環境改善の為、新施設建設計画の内容説明、協議が為された。

(2) 目白台循環バス廃止に伴う住民の交通手段の確保に

関する請願に対する現在までの検討状況について

○請願に伴う町内循環公共交通機関運営の概要について、導入の目的、使用車両はワゴン車2台、乗車料金無料、運行方式は定時定路線、運行経路は4コース循環、運行日時は月曜日から金曜日等の検討内容の説明、内容の協議が為された。

(3) 議会協議事項

① 一般質問方式（質問席）の変更について。

② 代表監査委員の本会議出席について。

〔6月9日〕

西入間広域消防組合における救急搬送の対応について。

○去る5月20日、119番通報により緊急出動した救急車の救急救命士が救命措置のため行った気道確保の気管挿入行為ミスと病院搬送後の対応、御遺族に対しての謝罪等について、事由と経過説明が為された。

## 議会の動き

- 4月20日 第60号議会だより発行
- 5月19日 入間郡町村議会議長会役員会（三芳町）
- 21日 2 常任委員会合同視察研修（川口市・茨城県土浦市）
- 22日
- 23日 入間郡町村議会議長会定期総会（三芳町）
- 26日 議会運営委員会
- 6月 2日 第2回（6月）議会定例会
- 11日
- 2日 全員協議会
- 6日 //
- 11日 議会運営委員会
- 7月 3日 入間郡町村議会議長会視察研修（山梨県身延町、富士河口湖町）
- 4日
- 3日 大分県由布市議会議員毛呂山町給食センター視察来町
- 17日 埼玉西部環境保全組合議員視察研修

次回定例会は9月1日（月）開会予定です。

### 6月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
6月 2日 (月)	0
3日 (火)	11
4日 (水)	1
5日 (木)	9
6日 (金)	0
11日 (水)	0

## 傍聴席



## あどがき

近年地球の温暖化の影響問題が世界の各地で深刻になっている時、最近ではミャンマーのサイクロン、中国四川省では大震災で多くの人命が失われています。日本でも岩手・宮城内陸地震が発生。多くの被害が出ましたが地球の未来が心配です。又、最近はこの命の尊さを感じないと思われる凶悪な犯罪の多発、ガソリン価格の天井知らずの高騰、あるいは食糧品などの値上りは生活を圧迫するなど最近明るいニュースが無い昨今ですが、議会は住民福祉の安寧のため努力しています。忌憚りの無いご意見をお寄せ下さい。

下田 一甫

### 編集委員

議長 高橋 達夫  
 委員長 岡野 勉  
 副委員長 伊藤 和由  
 委員 宮寺 征二  
 藤岡 健司  
 下田 一甫  
 川上 伸子